

④基本目標に係る施策展開

今後5年間で基本目標の達成を目指し、数値目標を達成するため、具体的に次の事業を取り組みます。

● 重大プロジェクト ●

道の駅あおき高機能拠点化事業

国土交通省より重点道の駅に選定されたことを受け、産業・交流・防災・生活・情報発信等、地域の拠点施設として、拡張事業を進めます。

国道143号青木峠新トンネル事業

国道143号青木峠新トンネルの整備を促進し、信州東（上田市）西（松本市安曇野地域）軸の生活圏・経済圏・医療圏等の拡大を図ります。

基本目標① “青木村らしい仕事づくり” を目指して

具体的な取組

- 青木村限定栽培蕎麦タッチアカネ推進プロジェクト
- 雇用創出奨励補助金事業
- 6次産業フロンティア事業
- 自然エネルギー発電システム構築プロジェクト等



基本目標② “青木村らしい人の流れづくり” を目指して

具体的な取組

- スポーツツーリズム推進事業
- 移住・空き家コーディネータ設置事業、移住・空き家総合相談窓口設置事業
- 移住お試し住宅設置事業
- 定住応援補助金事業等

基本目標③ “青木村らしい次世代づくり”

具体的な取組

- 青木村教育5重点事業
- 保・小・中一貫教育事業
- 子どもはつらつネットワーク事業、インクルーシブ教育構築事業等

基本目標④ “青木村らしいゆとりづくり”

具体的な取組

- 運賃低減バス運行事業
- 機能別消防団員の導入事業
- 高齢者等の匠バンク登録事業
- 介護予防事業の充実等

⑤推進体制

- 数値目標と重要業績評価指標（KPI）をもとに、施策・事業の効果を検証し改善するPDCAサイクルを確立して推進します。
- 役場庁内の推進組織として「まち・ひと・しごと・総合戦略推進プロジェクトチーム」を置くとともに、「青木村行政評価委員会（仮称）」を設置し、村内各界各層のみなさんとともに推進・検証を進めます。

【お問い合わせ】

青木村役場 総務企画課 事業推進室
〒386-1601 長野県小県郡青木村大字田沢111 電話 0268-49-0111 Fax 0268-49-3670

信州・青木村 “日本一住みたい田舎”の 総合戦略

平成27年12月

長野県小県郡青木村

①「信州・青木村 日本一住みたい田舎の総合戦略」とは

【計画の位置づけ】

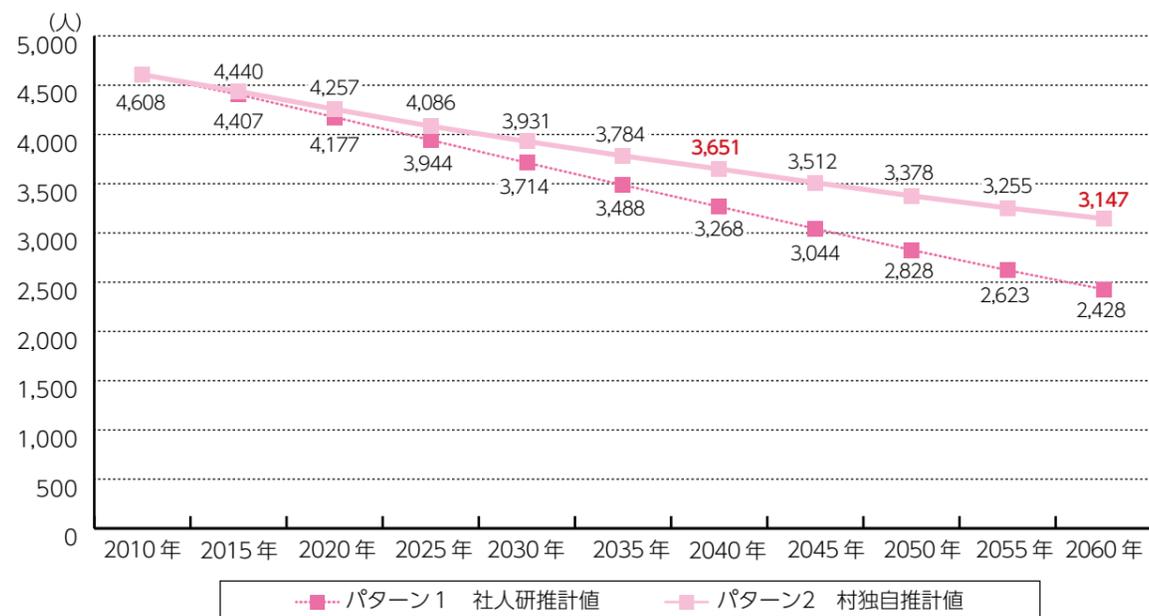
- 青木村の6つの「村づくりの理念」、「元気で豊かな青木村」等の将来像と整合し、人口減少克服・地方創生の目的を達成するための具体的な目標、施策として策定
- 「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づく「市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略」
- 国及び長野県の「長野県人口定着・確かな暮らし実現総合戦略」を勘案して策定

【対象期間】

- 平成27年度（2015年度）～平成31年度（2019年度）[5カ年間]

②人口の減少と将来展望

- 青木村の総人口は減少傾向で推移しており、昭和55年(1980年)の5,245人から平成22年(2010年)には12.1%減少し4,608人となっています。
- 国、都道府県、市町村が人口減少に歯止めをかける政策を講じない場合、急速に人口減少が進みますが、総合戦略に基づき一定の政策を講じた場合、減少の速度を緩やかにしていく可能性があります。



※パターン1は、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）が平成25年3月に公表した推計。
 パターン2は、「信州・青木村 日本一住みたい田舎の総合戦略」で継続して政策を実行した結果、人口減少の速度をできるだけ緩やかにする青木村独自の推計です。

人口目標として、
 青木村の宝である 青木っ子の小学1年生から中学3年生まで、
各学年2クラス維持を目指します！

③総合戦略の基本的視点と基本目標への展開

人口減少を克服すべく本村の強み・弱みなどを踏まえて、総合戦略における基本的な視点を以下の3つとします。また、基本的視点を踏まえ、国の4つの政策分野ごとに基本目標を設定するものとします。3つの基本的視点から基本目標への展開については、以下の矢印のとおりとします。

